

第16回全国障害者スポーツ大会（希望郷いわて大会） 北海道・東北ブロック大会に向けて

期 日 平成28年 6月11日（土）～12日（日）

会 場 バasketボール競技 一関総合体育館
サッカー競技 盛岡南球技場

参加体制	バasket男子	選手 9名	スタッフ 4名
	バasket女子	選手 10名	スタッフ 4名
	サッカー	選手 16名	スタッフ 9名

今年度は、岩手県で全国大会が行われます。
北海道・東北ブロック予選会は、全国大会のリハーサルとして開催されます。
予選会に挑む秋田県強化チームの意気込みと練習の様子を紹介します。

【男子バasketボールチーム】 監督 北林 拓也

チーム全体で激しいディフェンスから展開できるよう一戦一戦集中して戦い、優勝を目指します。



【女子バasketボールチーム】 監督 今井 理

ブロック大会へは今大会で14回目の出場となります。今年は選手10名、スタッフ4名で挑みます。
秋田県女子チームが初出場したのは、チーム結成翌年の平成15年でした。1回戦負けという結果で、とても悔しい思いで帰ってきたことを今でも覚えています。
今では、ブロック大会敗戦の「悔しさ」を知る選手は残っていませんが、「目標に向かってがんばる」「バasketボール（試合）を楽しむ」というスタンスやチーム作りの基本は、結成当時と変わりません。
選手、スタッフ共に全国大会に向けて気持ちを一つにして練習に励んでいます。このようにチームが変わらず続けられるのは、保護者や関係するたくさんの方々の御理解とご協力があるからであり、深く感謝いたします。
今年、2名の選手が初出場となります。メンバーが替わってもバasketボール（試合）を楽しみながら、目標（全国大会出場）に向けて強い気持ちでブロック大会に臨みます。
応援よろしくお祈いします。



【サッカーチーム】 監督 室井 克典

昨年度の大会では、決勝で札幌チームに敗れました。札幌チームに敗れた悔しさから、選手たちは、自分たちのチームに足りないもの、自分たち1人1人に足りないものについて考え、選手1人1人課題意識をもって一年間練習を続けてきました。
相手選手との1対1に負けないようにディフェンスでの体の寄せ方の練習をしてきた選手、シュートの精度を上げるようにシュートコースを意識しながら取り組んできた選手、体力をつけるように自主練習でランニングを続けてきた選手。
この大会で、選手たちのこれまでのがんばりを全部出せるようにチームが一丸となって闘い、札幌チームに挑戦してきたいと思ひます。
みなさんの熱い応援をよろしくお祈いします。

